



笑顔あふれる晴れの成人式 (H21.1.11)

## 議会だより

# にらさき

長期総合計画基本構想を議決	.....	P2
諸会議を議会活動に位置付け	.....	P3
ここが聞きたい (一般質問)	.....	P5
議会改革への取り組み	.....	P12

# 12月定例会は、

8日から19日までの12日間の会期で開催しました。

条例の改正、補正予算、第6次長期総合計画基本構想など15議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問は、9議員が登壇し市政について市長の考えをただしました。

# 新しい 第6次長期総合計画 基本構想を議決

10年後（平成30年度）の韮崎市のあるべき姿（将来像）を考え、その実現に向けて市民と行政が協働してまちづくりを進めていく（平成21年度から）ための総合的な指針・戦略（基本構想）が執行部から提案され、一部異議ありの声がありましたが、起立採決の結果、賛成多数により議決しました。

将来像と  
計画の  
推進テーマ

## 「夢と感動のテーマシティにらさぎ」

— 美しく、人・地域が輝く 未来へのものがたり —

### 「まちづくりの基本方向」と政策⑱

#### 1 将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

- ① 子どもを安心して生み、育てられる社会の実現
- ② 子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実

#### 2 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- ③ 健康な暮らしを守る保健・医療の充実
- ④ 地域の絆を深める福祉社会の実現
- ⑤ 安全・安心に生活できる地域体制の構築
- ⑥ 安心して頼れる社会保障システムの充実
- ⑦ 暮らしを支える雇用の場の確保

#### 3 心地よい定住環境のあるまちづくり

- ⑧ 自然を活かし、自然にやさしいまちづくりの推進
- ⑨ 快適に暮らすための生活環境の充実
- ⑩ 便利な生活のための都市基盤の整備

#### 4 魅力あふれるまちづくり

- ⑪ 環境と調和した農林業の振興
- ⑫ まちの賑わいをつくりだす商工業の振興
- ⑬ 訪れる人に感動を与える観光業の振興
- ⑭ いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり
- ⑮ 次代へつなぐ歴史・文化の醸成

#### 5 人が集う交流のあるまちづくり

- ⑯ 市民と行政の協働によるまちづくり
- ⑰ ささまざまな交流の充実

#### 6 健全な行政活動によるまちづくり

- ⑱ 効率的・効果的な行政運営

## 【条例改正】

### ◆ 蕪崎市国民健康保険

#### 条例の一部改正

出産育児一時金（35万円）に加算支給（上限3万円）を行えるようにしました。

#### 《加算支給》

新たに発足した産科医療補償制度に定める保険に加入している産科、助産院で出産した場合。（県内の産科、助産院はほとんど加入しています。）



### ◆ 蕪崎市市営住宅設置

#### 及び管理条例の一部改正

入居契約に伴う連帯保証人の住所要件を緩和（市内を県内に）しました。

### ◆ 蕪崎市企業立地支援

#### 条例の一部改正

企業への優遇措置に係る対象業種の追加及び指定要件の緩和等により、企業立地に対する支援強化を図りました。

### ◆ 蕪崎市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

### ◆ 蕪崎市農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正

## 【市道の路線認定】

穂坂町地内（農工団地）の新設道路、旧県道より管理移管される道路（穴山・円野）の計3路線を市道として認定しました。

## 【公平委員会委員】

金山宏氏（中田町中條）の任期が満了となることから、後任者の選任について、市長から議会の同意を求める提案がされ、金山氏を再任することに同意しました。

# 諸会議を正規の議会活動に位置付け

これまで正規の議会活動として認められていたものは、

- ① 本会議
- ② 委員会活動
- ③ 議員派遣

に限られていた。

地方自治法の改正により、議会の運営に関し協議又は調整を行う場を、蕪崎市議会会議規則に定めることで、正規の議会活動（公務災害の対象となる）として位置付けることができるようになった。

## 《今回規定した諸会議》

- ④ 全員協議会
- ⑤ 各派代表者会議
- ⑥ 議会運営に関する研究会  
(小委員会)
- ⑦ 議会運営に関する研究会  
(全議員)
- ⑧ 議会だより編集委員会
- ⑨ 議長経験者打合せ会議
- ⑩ 議会概要説明会

# 設置後初めての 財務常任委員会

本委員会に付託された「平成20年度一般会計補正予算(第3号)」ほか4案件について、議案ごとに慎重に審査した結果、全案件を可決すべきものと決しました。  
また、今後の活動内容について協議するとともに、来年度当初予算編成に対する基本的な考え方と編成状況について、担当課長より説明を受けました。

## 〔一般会計補正予算〕

補正額(増額)

1億2250万6千円

## ●緊急総合対策事業

2881万1千円

景気の悪化による市民生活の不安低減のため、市独自の事業費を計上。

## 《ひとり親家庭支援事業》

父子家庭への支援金(月額1万円/2子以降加算) 交付(収入制限あり)

⇐

9月議会で採択した請願(父子家庭や母子家庭をひとり親家庭として平等な取り扱いとする請願)が実現。

## 《まごころ宅配事業》

75歳以上の方に市商工会のふれあい商品券(2千円)を配付。

## 《不妊症対策支援事業》

治療費の補助を2回分20万円に増額。

## 《予防接種事業》

就学前の乳幼児を対象にインフルエンザ予防接種費用(2千5百円)を助成。

## 《中小企業振興資金融資事業》

県融資制度などの利子補給と信用協会保障料の補助増。

## 《病院事業》

新型インフルエンザ対応用の人口呼吸器などの資産購入費。

## ●市単独道路整備事業

2056万1千円

上ノ山・穂坂農工団地造成に伴う道路整備詳細設計委託費。

## 〔その他会計〕

### 《国保特別会計》

補正額(減額)

3億2163万1千円

### 《下水道特別会計》

補正額(減額)

4139万8千円

## 《介護保険特別会計》

補正額(増額)

2339万5千円

## 《病院事業会計》

補正額

収益的収入支出(減額)

3549万2千円

資本的収入(増額)

176万3千円

資本的支出(増額)

740万2千円

## 財務常任委員会の活動内容

### 《当初予算及び決算》

- 5月・専決処分、繰越明許費等の事前説明。
- 6月・決算審査の進め方を検討協議。
- 8月・前年度決算見込み及び交付税の状況について説明。
- 9月・決算に対する説明会開催。
  - ・定例会において決算の審議。
- 10月・市長に次年度当初予算への提言。
  - ・予算調査の進め方を検討協議。
  - ・次年度当初予算に対する基本的な考え方と編成方針について説明。
- 12月・予算編成状況について説明。
- 2月・当初予算概要がまとまった時点で、新規事業・重点事業等一覧表を作成し委員に配付。
- 3月・当初予算に対する説明会開催。
  - ・定例会において当初予算の審議。

《補正予算》についても、財務常任委員会で審査。

《その他》 審査すべき案件が発生した場合は、随時開催。

## 請願

### 継続審査

☆社会保障費自然増の毎年2200億円の削減をやることの見直しを求めるとの意見書を求める請願

(提出者)

進歩と革新をめざす

葦崎の会代表世話人

渡辺吉基さん

国は、2002年度社会保障費自然増分の3千億円の抑制を行い、その後毎年2千2百億円を削減し、「骨太の方針2006」は、社会保障費を今後5年間で1兆1千億円、毎年2千2百億円削減することを明記した。この削減により、医療・介護・年金・障害者などの社会保障の分野が連続改悪されてきた。日本医師会や看護協会などが、この削減に反対を表明している。国民が安心して生活ができるように、この削減をやめる意見書の提出を求める。

# 一般質問

## にらさきの まちづくり ここが聞きたい

### 9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ](#)⇒[議会](#)⇒[会議録](#)で見ることができます。録画中継も配信しています。

#### 定額給付金の支給 方法と対象者は

(問) 藤嶋議員

総額2兆円にも及び定額給付金は、この金を危機に瀕している公立病院の経営改善や地球温暖化防止などの施策に使うべきとの意見がある。また、目的が不透明であることから公費による選挙対策とも言われている。

市は、定額給付金の支給方法と対象者について、どのように考えているのか。また、事務処理に要する時間と経費はどれ位か。

(答) 横内市長

事務処理が円滑に行えるように、支給方法については、口座振替を最優先に、給付対象者につい

ては、全市民への給付が良い方法であると考えている。

時間と経費については、事業の詳細が決定していないので回答が困難であるが、平成12年の地域振興券交付事業の際には、約6ヶ月を要し、経費は約千2百万円であった。

#### 限界集落への 対策は

(問) 藤嶋議員

県内で65歳以上の高齢者が住民の半数を超え、存続が危ぶまれる「限界集落」は119地区。55歳以上の方が半数を超える「準限界集落」が234地区であると新聞報道された。集落限界化の原因は、農林業を崩壊させた政策、効率のみを優先

させた地域開発等、国の政策によるものである。葦崎市で該当する集落はあるのか。また、その対策はいかがか。

(答) 横内市長

本市で限界集落に該当する集落は無い。準限界集落は穂坂町4地区、中田町・穴山町各1地区の計6地区である。

空家バンク制度を活用するなどして、定住人口を増やすなど、地域力の再生に取り組み、活力ある地域づくりと農業振興、高齢者への配慮ある施策を強化していく。



空き家



藤嶋 英毅 議員  
[葦政クラブ]

#### その他質問

- ◆大量解雇に伴う雇用不安に関する市長の見識について
- ◆道路整備について
- ◆釜無川河川敷の立木伐採について
- ◆燃油高、物価高から低所得者と中小零細企業を守る政策について
- ◆交通空白地域対策について



西野 賢一 議員  
[葦政クラブ]

その他質問

- ◆IT関連事業について
- ◆観光事業について
- ◆市民課窓口業務について
- ◆主要地方道葦崎昇仙峡線拡幅工事について
- ◆エコパークたつおかについて

裁判員候補者数は

(問) 西野議員

裁判員候補者の対象者が、全国で29万5千人、県内で2千3百人といわれているが、葦崎市の対象者数はどれ位か。

また、小さな子どもを持つ親も安心して参加できるよう支援制度を執行している自治体もあり、本市でも取り入れるべきだと考えるがいかがか。

(答) 横内市長

選挙人名簿登録者の中から、裁判所より指定された83名分を無作為抽出し、候補者名簿を送付した。

支援については、選任された方から具体的な相談があった際、本市で実

施中の「一時保育制度」

「ファミリーサポート制度」を十分活用し、活動を支援していく。

市外施設入所者の火葬場使用料の改善を

(問) 西野議員

本市の火葬場使用料金は、他市と比較して、安く利用できるが、本市在住の方が、やむなく市外(住所を移さなければならず)の施設などに入所し、不幸にも亡くなってしまった場合に、火葬場使用料は市外料金が適用されている。

遺族は、葦崎市民と想って介護してきており、その気持ちを考えると、何らかの策を講じ、そういった方の料金は、市内

者の料金と同額にすべきと思うが、いかがか。

(答) 横内市長

火葬場使用料については、条例に基づき徴収しているが、質問のような住所地特例の対象者についても、市内在住者として認定できるように条例改正を行う予定であり、更なる市民サービスの向上に努めていく。



市営火葬場

御勅使工業団地隣接地の進捗状況は

(問) 興石議員

地域経済の活性化及び新たな企業の誘致を目的とした「企業立地促進法」が施行されたが、御勅使工業団地隣接地である、大草町内の候補地(3・2ha)の進捗状況はいかがか。

(答) 横内市長

民間開発を想定した「御勅使地区工場適地」として、継続的に推奨してきた用地である。平成19年12月に地権者を初めて認定できるように条例改正を行う予定であり、更なる市民サービスの向上に努めていく。

現在も積極的に誘致活動を展開しているが、区域全体の形状が不整形であること等の理由から、企業誘致には至っていない。

介護施設の状況は

(問) 興石議員

介護施設への入所希望者が増えているが、入所できない方が非常に多いと聞いている。市立病院の介護病棟も平成22年には廃止とのことだが、市内には介護施設が何カ所あり、収容人員はどれ位か。また、市立病院の介護施設廃止後はどのように対処していくのか。

(答) 横内市長

入所型の施設は、特別養護老人ホームが1カ所

で定員60名。介護老人保健施設が1カ所で定員100名。グループホームが2カ所で定員36名。市立病院の介護療養病棟が定員20名。

市立病院の介護療養病棟廃止後については、現在策定中の「市立病院改革プラン」「高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画」の中で検討し、国・県の動向を見ながら今後の移行計画の策定を考えている。



興石 賢一 議員  
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆少子化対策について
- ◆市道竜岡18号線の拡幅工事について
- ◆農道及び農業水路の整備について
- ◆工事及び物品購入の入札業者の指名について



山本 雄次 議員  
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆企業誘致について
- ◆道路改良箇所の舗装について
- ◆鳥獣害対策について

下水道布設計画は

(問) 山本議員

現在、都市計画区域内を重点に下水道布設事業が進められているが、平成20年9月までの布設状況、加入状況は計画の何%なのか。

また、1日でも早い完成を望むものであるが、今後の整備計画はどのようになっている、都市計画区域内の工事は、何年頃完了となるのか伺いたい。

(答) 横内市長

現在までの布設状況は、計画延長237・8kmに対し54・4%の129・4kmを実施済みであり、加入状況は、75・4%である。

今後の整備計画は、竜岡町、大草町、旭町を順次整備していく、都市計画区域内の完了予定は、現計画で平成45年を見込んでいる。

徳島堰用水路の柵改修を

(問) 山本議員

徳島堰両岸に設置された転落防止柵が老朽化し、金網も大きく穴が開いている。

道路側はガードレール等で補強されているが、右岸側、特に住宅地側は、腐食が進み防止柵の様をなしていない箇所が多く見受けられる。

関係機関と協議し、早期に着工し安全に努めていただきたいかがかか。

(答) 横内市長

徳島堰は徳島堰土地改良区で管理している総延長1万6千399mの農業用水路である。過去のフェンス設置事業は、県営事業として、平成14年から17年度まで円野町から旭町までの区間の道路沿いを、事業費6千2百万円で改修を実施した。今後は、土地改良区へ改修事業が実施できるよう要望していく。



徳島堰転落防止柵

長期総合計画の構想と希望は

(問) 森本議員

今議会に、明年度から10年間の葦崎市の方向性を示す第6次長期総合計画の基本構想が提案されたが、市長は、わが葦崎市をどのようにしていきたいのか、構想と希望を伺いたい。

(答) 横内市長

基本構想案で提案したとおり、将来像「持続的に成長し続ける『夢と感動のテーマシティ』」の実現に向け、6つの基本方向により、市民と行政が協働しながらその実現を目指したまちづくりを進め、上質で賑わいのあふれる葦崎市を創造していきたいと考えている。

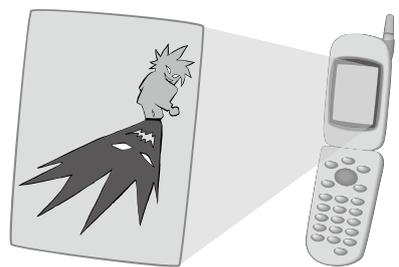
有害サイトから子どもを守る取り組みは

(問) 森本議員

子どもを有害サイトから守る「有害サイト規正法」が成立したが、法の整備だけでは十分ではない状況において、家庭や学校での教育で安全網を張り巡らしていくことが必要である。本市の小中学生の実態と学校での対策はどうなっているのか。

(答) 興水教育長

携帯電話を持っている小学生は136人で全体の10・4%。中学生は490人で47・2%。学校への持参については、家庭の事情や健康上の理由等がある場合に許可し



携帯電話有害サイト

ている。

各学校では、児童・生徒・保護者が「ケータイ等」の実態を把握することが急務であると考え、「子どもと携帯」「生徒と保護者」のためのワークショップ等の講演会や教員研修会を開催し、理解と認識を深めるとともに、保護者には、フィルタリングの義務付けを指導している。



森本由美子 議員  
[公明党]

その他質問

- ◆物価高、金融危機に対する生活支援と経済対策について
- ◆市職員と小中学校職員に対するメンタルヘルスケアの推進について



小林 伸吉 議員  
【公明党】

その他質問

- ◆行政評価システムの外部評価の活用への進捗状況について
- ◆事業仕分けの導入について

コンビニ納税の導入を

(問) 小林議員

県内では、既にコンビニ納税を導入している自治体や段階的な実施を決定している自治体もある。本市においても、市民の納付機会を拡大し、更なる市民サービス（利便性）の向上につながる、市内全域の身近なコンビニ納税の導入を提案するがいかがか。

(答) 横内市長

導入については、納税しやすい環境の向上のための有効な手法の一つであると考えているが、今後予定している電算システムの更新時期に併せ、ローコストで対応できる納税システムの構築に向

け、検討してまいりたいと考えている。

市立病院改革プランは

(問) 小林議員

県立中央病院の特定独立法人化の検討や県内自治体市立病院の指定管理者への移行などの記事により、市民から「市立病院を心配する声もある」と改革プランは、どのような内容（項目）で策定し、また実施状況の評価を行うのか。

(答) 横内市長

公立病院改革ガイドラインにより、第1に経営指標に係る数値目標を設定すること。第2に一般会計繰出後の「経営黒字化」が達成される水準を



改革進む市立病院

めどとし策定すること。第3に具体的な取り組みについて明記すること。第4に平成21年度から23年度までの各年度の収支計画、数値目標を明記することとされているので、その内容に沿って策定していく。実施状況の評価については、市立病院運営協議会に諮問して、数値目標の達成度等を客観的に点検、評価していただく考えである。

防災機能を備えた公園の整備を

(問) 嶋津議員

視察した神奈川県伊勢原市の公園は、普通の市民公園であるが、事がある時にはグラウンドの南側に下水道完備のトイレが出現し、また防災用具は即座に対応できるようにしてある。

わが市においても、中央公園や穴山さくら公園等に、防災機能を備えた公園を整備したらどうかと考えるがいかがか。

(答) 横内市長

市の地域防災計画では、公園や緑地などのオープンスペースを避難地やヘリポートに指定してある。公園の避難地には、トイレ等も設置して

あるので、防災公園としての機能を備えていると理解している。また、現在穴山さくら公園は避難地になっていないが、今後避難地として指定するよう検討していく。

県道穴山バイパス開通に伴う市道拡幅を

(問) 嶋津議員

穴山町民の長い間の願望であった、県道穴山バイパスが平成20年6月開通して、学生は足取りも軽く通学している。

一方で、市道穴山1号線（通称市道穴山円野線）のバイパス交差点手前は、道幅が狭く、すれ違いができないため、バイパス開通により更に危険度が増し、既に交通事

故も発生したと聞いている。拡幅工事をすべきだと考えるがいかがか。

(答) 横内市長

穴山バイパスの供用開始に伴い、市道穴山1号線の交通量も増加が見込まれることから、交差点西側の道路拡幅は、平成22年度の道路整備計画に位置づけ、着手していく。



穴山バイパス交差点



嶋津 鈴子 議員  
【市清クラブ】

その他質問

- ◆わが市の不況対策について
- ◆図書館建設について
- ◆障害者自立支援について
- ◆国民健康保険資格証明書発行世帯にいる子供への対応について



神田 明弘 議員  
【日本共産党菰崎市議団】

### その他質問

- ◆第6次長期総合計画について
- ◆住民負担問題について
- ◆環境衛生センターゴミ焼却炉の維持管理費問題について
- ◆いま注目が集まっている賢治と嘉内の交流に市の積極的な取り組みを

## 雇用促進住宅強制退去問題は

(問) 神田議員

この問題は、入居者に様々な不安と動揺を与えている。既に署名が市に提出され要請も行われているので、入居者の切実な思いはわかっていると思うが、入居者にとって最善の結果となるよう雇用・能力開発機構と協議を進めるべきである。見解はいかがか。

(答) 横内市長

入居者の生活の安定を最優先に考え、開発機構と協議を進めた結果、4カ所の内、菰崎第2、竜岡、藤井の3宿舎については購入の意向を伝え、市民の不安感を取り除いたところである。菰崎宿舎については、築41年を経過しているもので、これからの維持管理コストが多いため、資産評価、その他条件を協議した後、決定したいと考えている。

## 中小企業を守る緊急対策を

(問) 神田議員

中小企業支援のため、国に対し対策を要求するとともに、「下請けかけこみ寺」、中小企業向け

(答) 横内市長

小規模修繕工事の発注、商店街振興のための「地域買物券」の発行など、市としてできることに取り組みが必要があるが、見解はいかがか。

国内外の金融危機の深刻さが地方にも波及する中、政府の景気対策が早急に実施され、早期に地域経済の安定化が図られるよう強く望むものであり、金融機関の貸し渋りを解消し、中小企業の資金繰りを円滑化する必要があると認識している。このため本市においても、「緊急総合対策7事業」を創設したところであり、今後も国の政策の動向を見極め、さらなる対策を検討していく。

## 雇用問題への対策は

(問) 小林議員

政治の責任により、無法・違法な解雇をやめさせ生活と雇用を保障する実行ある対策を強く国に求めるべきである。また、失業の増大は地域経済にも重大な影響をもたらすので、県に対して雇用対策を要望するとともに、市としてできる対策を行うべきであるがいかがか。

(答) 横内市長

わが国の大企業も深刻な状況であり、全国的な課題となっているので、今後、国、県等で行う派遣労働者の正社員化、雇用調整助成金など、新たな雇用対策が行われると伺っているので、その動

## ゴミの減量化は

(問) 小林議員

向を注視し、地方でできることを実施していく。今後も引き続き、地域の経済対策や雇用問題等について、きめ細かい対応に努めていく。

資源循環型の地域社会づくりに向けて、ゴミの分別・資源化の推進は欠かせない。燃やすゴミの減量化と資源化に取り組むことが、焼却に要する費用の軽減にもなる。

本市でもミックスペーパーの収集を始めたが、さらにリサイクルの分別収集の品目を増やすことで、ゴミの減量化に取り組むべきと考えるが、見解はいかがか。

(答) 横内市長

現在、12品目のリサイクルに取り組んでいるが、品目を増やし活動を展開して行くことは、財政負担を伴うので、費用対効果をみながら対応していく。

資源物のリサイクルも、経済状況により市場が左右される要素も大きく、当面の間は、現状収集品目の分別化の徹底を強化し、ゴミ総量の低減化を図ることに努力を傾注していく。



小林恵理子 議員  
【日本共産党菰崎市議団】

### その他質問

- ◆自立支援法を廃止し、障害者の権利を真に保障する新たな制度について
- ◆国民健康保険の資格証明書発行について
- ◆通学路の安全対策について
- ◆ゆ〜びる・道の駅の運営について
- ◆中田公民館の施設の充実について

# 委 員 会 活 動 報 告

## 総務教育常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《請願審査》

・ 社会保障費自然増の毎年2200億円の削減をやめることの見解を求める請願

↓ 採決の結果、継続審査と決定

〔主な意見〕

- ・ 採択すべきである。
- ・ この削減とは別に、介護、医療などの社会保障費の予算増を国が考えているとも聞いているので、継続審査とすべきである。

・ 国の予算がまだはっきりわからないので、継続審査とすべきである。

《その他審査内容》

- 各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。
- ・ 防災、耐震対策について
  - ・ 入札について
  - ・ 市民バスについて
  - ・ 公共交通検討協議会の状況について
  - ・ 職員の時間外勤務手当について
  - ・ 職員の健康問題について
  - ・ 学校教育について
  - ・ 要望書、要請書について

## 市民生活常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《審査内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・ 医療費窓口無料化の状況について
- ・ ゴミ処理の状況について
- ・ 病院の遠隔画像診断実施について
- ・ 病院未収金について
- ・ 病院改革プランについて
- ・ 新築家屋の状況について
- ・ インターネット公売の状況について
- ・ 収納課の時間外開庁について

〔現地調査（閉会中）〕

- 所管する施設の現状と課題について
- ・ 市立病院
  - ・ 保健福祉センター
  - ・ 穴山保育園
  - ・ 穴山デイサービスセンター
  - ・ 市営火葬場



穴山保育園

## 産業建設常任委員会

〔12月定例会会期中の委員会〕

《審査内容》

各課長から、現状報告と概要説明を求め、質疑を行った。

- ・ 水路整備について
- ・ 地方病溝渠について
- ・ 有害鳥獣対策について
- ・ 雇用問題について
- ・ 観光事業について
- ・ 中心市街地の状況について
- ・ 農工団地造成について
- ・ 下水道工事現場死亡事故について

〔現地調査（閉会中）〕

- 工事現場等の進捗状況について
- ・ 下水道工事現場
  - ・ 駅前遊歩道改修現場
  - ・ ライフガーデンにらさき工事現場
  - ・ 穂坂自然公園
  - ・ 農工団地



ライフガーデンにらさき工事現場



# 研修 レポート

行政視察

## ■ 議会運営委員会研修

1月21日、埼玉県鶴ヶ島市を行政視察しました。

- ・議会報告会の実施、議会基本条例制定への取組など、先進している議会改革の状況について研修を行いました。



予定時間を過ぎてても熱心に研修

## ■ 山梨県市議会議長会 議員合同研修

2月13日、県内の市議会議員合同研修会が都留市で開催され、県内から300名以上の市議会議員が参加しました。

講師：都留文科大学学長 今谷 明氏  
講演：甲斐武田氏から学ぶ地方政治について



## ■ 会派研修

### [誼政クラブ]

① 2月3～5日

- ・沖縄県宜野湾市  
「シルバーパスポート事業などの高齢者施策について」
- ・沖縄県沖縄市  
「子どものまち宣言都市（推進事業）について」

② 2月18日

- ・長野県飯田市  
「グリーンツーリズム事業について」

### [誼和クラブ]

■ 2月5～7日

- ・愛知県刈谷市  
「指定管理者による公立保育園の管理運営について」
- ・愛知県西尾市  
「公立保育所の民営化について」

### [共伸クラブ]

■ 2月2・3日

- ・岐阜県高山市  
「高山市議会の概要について」  
「福祉関係各種手当について」

### [市清クラブ・公明党]

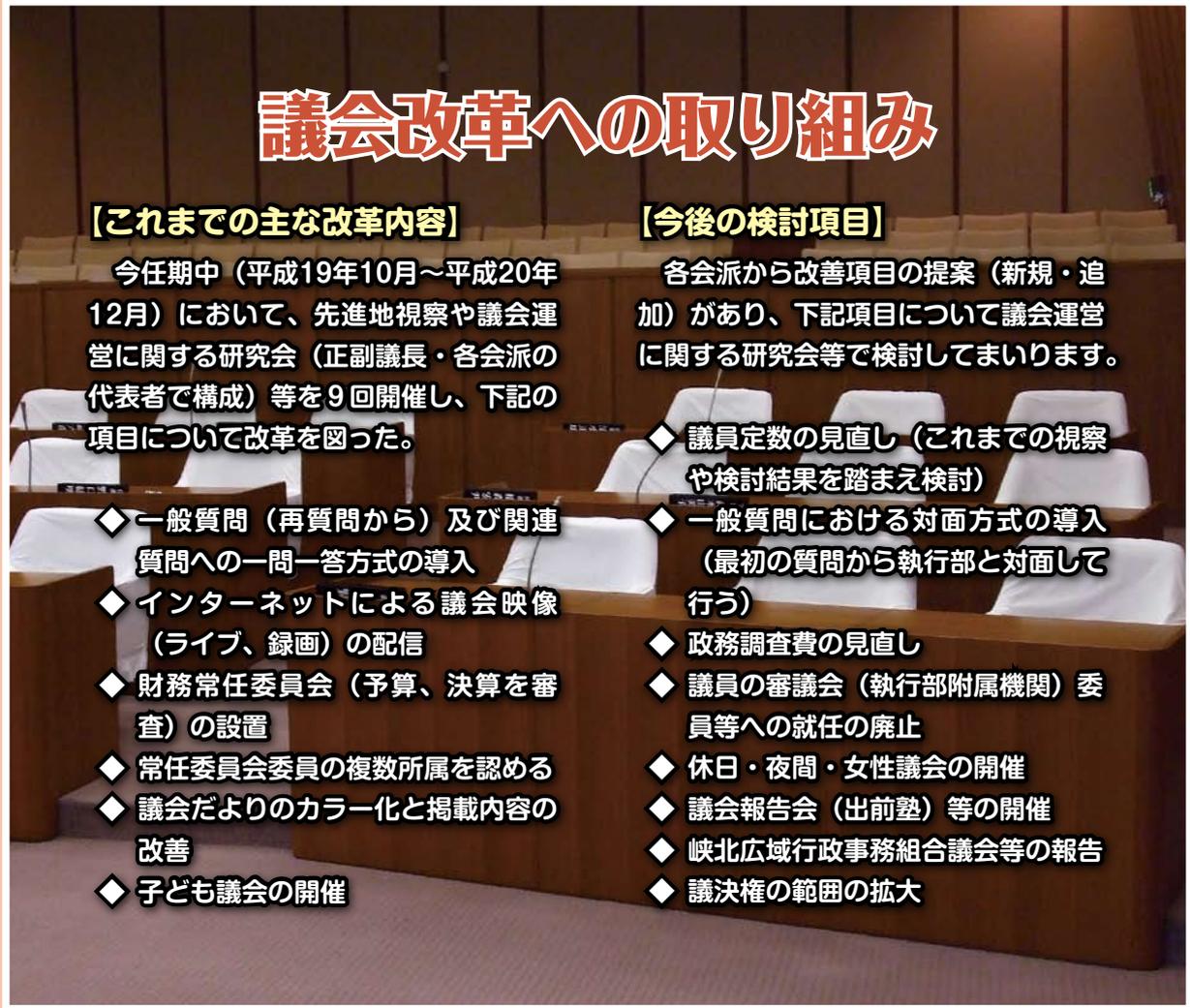
■ 1月29～31日

- ・千葉県鎌ヶ谷市  
「団塊世代の活動支援計画について」  
「子ども安全市民債について」
- ・茨城県鉾田市  
「健康増進事業について」  
「介護予防事業について」

### [公明党]

■ 2月6日

- ・東日本税理士法人グループ主催  
「公立病院改革～議会議員の視点から」



# 議会改革への取り組み

## 【これまでの主な改革内容】

今任期中（平成19年10月～平成20年12月）において、先進地視察や議会運営に関する研究会（正副議長・各会派の代表者で構成）等を9回開催し、下記の項目について改革を図った。

- ◆ 一般質問（再質問から）及び関連質問への一問一答方式の導入
- ◆ インターネットによる議会映像（ライブ、録画）の配信
- ◆ 財務常任委員会（予算、決算を審査）の設置
- ◆ 常任委員会委員の複数所属を認める
- ◆ 議会だよりのカラー化と掲載内容の改善
- ◆ 子ども議会の開催

## 【今後の検討項目】

各会派から改善項目の提案（新規・追加）があり、下記項目について議会運営に関する研究会等で検討してまいります。

- ◆ 議員定数の見直し（これまでの視察や検討結果を踏まえ検討）
- ◆ 一般質問における対面方式の導入（最初の質問から執行部と対面して行う）
- ◆ 政務調査費の見直し
- ◆ 議員の審議会（執行部附属機関）委員等への就任の廃止
- ◆ 休日・夜間・女性議会の開催
- ◆ 議会報告会（出前塾）等の開催
- ◆ 峡北広域行政事務組合議会等の報告
- ◆ 議決権の範囲の拡大

## 編集後記

新しい年を迎え、早や2ヶ月が経とうとしておりますが、米国発の金融危機は、世界中を覆い尽くし、日本国内でも、企業の減益や雇用の悪化などにより、大変厳しい社会経済情勢となっております。

韮崎市においても、来年度は、法人市民税などの大幅な減収により、厳しい財政事情となることが見込まれています。

このような難局を迎え

るにあたり、議会といたしましては、議会本来の役割を果たし、議員個々が議員のなすべきことを再認識し、日々の議会活動に取り組んでまいります。と考えております。

議会だより編集委員会

委員長	望月 正澄
副委員長	野口 紘明
委員	土屋 泰一
委員	森本由美子
委員	藤嶋 英毅
委員	清水 一
委員	嶋津 鈴子

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 3月 2日 | 開会・諸報告<br>市長所信表明    |
| 9日    | 一般質問                |
| 10日   | 一般質問                |
| 12日   | 議案審議・委員会            |
| 13日   | 財務常任委員会             |
| 16日   | 財務常任委員会             |
| 18日   | 議案審議<br>委員長報告<br>閉会 |

※定例会（委員会）は、どなたでも傍聴できますので、是非、傍聴にいらして下さい。（委員会を傍聴する場合には事前に申し出てください。）

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

## 3月定例会日程